



な っ と く ん の

山口県立山口博物館 学校地域連携担当

2017年 9月21日 No.191

なるほどなっとくニュース

なっとくんの「なるほどなっとくニュース」は、県立山口博物館ホームページでダウンロードすることができます。

CM Community Museum 地域の宝 学校の宝

アメリカと日本の平和を願う 青い目の人形

でまえじゅぎょう おとす やまぐちしりつこうしんしょうがっこう たからもの
 出前授業で訪れた山口市立興進小学校の宝物に、ロイス・メイ・フレッシュマンという名前の「青い目の人形」があります。青い目の人形（親善人形）は、昭和2年（1927）に、親善を目的としてアメリカ合衆国から日本に贈られた人形です。このころ日本は満州への足がかりを考え、アメリカも中国への影響力を強めようとしていました。また、日本人移民者への偏見も広がっている時期でした。そこで、アメリカ人宣教師のシドニー・キューリック博士（1860~1945）が、「世界の平和は子供から」をスローガンに、まず子ども同士が仲良くなることを目標に人形を送ることを提唱しました。その結果、寄付金などで準備された1万体を越える人形が日本に送られました。この活動に、「日本資本主義の父」といわれる渋沢栄一（1840~1931）も協力しています。お返しとして日本からは、答礼人形が送られました。不幸にして両国で戦争が起こりましたが、人形には平和への思いを込めた物語が存在しています。世界の平和を考えるための貴重な財産です

参考文献『青い目の人形』原田一美



ロイス・メイ・フレッシュマン
山口県 山口市立興進小学校

昭和40年頃、当時の用務員が倉庫代わり旧校舎から見つけ出し、資料室に移したという。

人形の名前	「ロイス・メイ・フレッシュマン」ちゃん
人形の贈り主	シドニー・キューリック氏
贈呈を受けた日	昭和2年4月 歓迎会開催
所有者	興進小学校 山口県山口市大江崎2284

人形についての説明板



こうしんしょうがっこう ひがし ほうこう ふしのがわ そ おおらこふんぐんこうえん
 興進小学校の東の方向、榎野川沿いに大浦古墳群公園があります。ここには、「浦辺古墳群」、「大浦古墳群」、「梅ヶ崎古墳群」から移築復元された6つの古墳があります。浦部古墳群は、6世紀末から7世紀末までの6基の古墳からなる古墳群です。大浦古墳群は、約30基の古墳からなり、山口県では珍しい竪穴系横口式石室をもつ古墳です。これは、竪穴式石室に横から入り口をつけた形をしたものです。梅ヶ崎古墳群は、16基の古墳で構成される古墳群で、鉄刀などの副葬品が出土しています。大浦古墳群公園では、失われていた石室の天井の石を、一部復元している古墳もあります。大きな石を巧みに組み合わせ、石室の様子がわかる6基の古墳をすぐ近くで見ることができます。



大浦古墳群公園全体の様子



入り口上部の石を復元した石室



前室のある石室



当時の様子を復元した古墳

やまぐちはくぶつかん やまぐちし てんじんやまこふんないぶ み たんこう こだい よろい いっしゅ てんじちゅう
山口博物館では、山口市の天神山古墳内部より見つかった短甲（古代の鎧の一種）を展示中です。